

XI 排尿ケアチーム



排尿ケアチームは入院患者さんが排尿自立するために病棟スタッフの指導・支援を行っている。泌尿器科医師、泌尿器科外来看護師、リハビリテーション部の作業療法士・理学療法士からチームは構成されており、病棟Ns（リンクNs）ともに評価、計画、実施、治療後評価を行なう。対象患者は尿道カテーテル抜去後に、尿失禁、尿閉などの下部尿路機能障害の症状を有する、あるいは見込まれる入院患者である。ゴールは自力での排尿管理で、自排尿または間欠導尿が可能となって退院することを目指している。

昨年度は1号館8階西病棟の泌尿器科の入院患者をチームケアの対象患者としてスタートし、徐々にそれ以外の病棟・診療科の患者についても活動をひろげ、3月にはマニュアルを電子カルテにアップロードして全病棟がカバーできる体制を整備してきている。

現在週1回のミーティングと病棟回診を中心に活動している。今年度からはケアチーム介入した患者の術後再診での加算が認められており、泌尿器科外来で運用開始する。

XI-1 今年度の主な活動

4月23日	ケアチーム設置届け出
7月11日	1号館8階西病棟勉強会
8月	1号館8階西病棟の泌尿器科入院患者を対象に活動開始
9月26日	医療安全講習会ミニレクチャーシリーズ 開催 「安全で効率的な排尿管理 -排尿ケアチームができること-」
11月20日	救命救急病棟勉強会
12月11日	1号館12階病棟勉強会
2月	マニュアルを電子カルテ画面にアップ

XI-2 2019年8月～2020年3月介入件数の内訳（合計44件）

患者年齢	4ヶ月～91歳
中央値	63

依頼科	
泌尿器科	38
産科婦人科	1
整形外科	1
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1
新生児	1
救命救急センター	1
下部消化管外科	1

依頼病棟	
1号館8階西	40
10号館9階	1
GCU	1
1号館9階東	1
1号館12階	1

依頼理由	
術後尿失禁	32
排尿困難	8
尿閉	3
機能的尿失禁	1



原疾患	
前立腺全摘術後	32
対麻痺	2
急性腎盂腎炎	2
急性前立腺炎	1
二分脊椎	1
前立腺肥大	1
進行前立腺癌	1
広汎子宮全摘後	1

介入内容（重複あり）	
骨盤底筋体操	32
間欠導尿	7
間欠導尿検討	2
排尿援助	1
尿道バルン抜去	1
ナイトバルン	1
薬物療法	5

転帰	
骨盤底筋体操継続	32
間欠導尿継続	4
自排尿自立	4
尿道バルン留置管理	2
ナイトバルン	1
オムツ内排尿	1